

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	介護通訳支援事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	保健福祉部	課等名	介護高齢課		包含する細々目	1	3	1	4	14	6	336
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり											
施策	35 高齢者福祉の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 介護保険事業計画 飯田市介護通訳派遣事業実施要綱						
		事業期間	18	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	要支援・要介護認定者と障害者で居宅介護サービス(支援費によるサービス)利用者。中国引揚者または外国人で、介護サービスの利用にあたって通訳が必要な者、また、そのものを担当する居宅介護支援事業所並びに居宅介護サービス等のサービスを提供する事業所。	主に通訳を必要とする人数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			10	10		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
			介護通訳利用により、介護サービスについて通訳し説明できた件数	18目標	240	最終目標
	介護保険サービスでの、ケアマネジャーによる毎月の居宅介護サービス計画の訪問説明、サービス事業所による各サービス実施計画について説明に、通訳が必要な要介護者とそれを支える事業者を支援する。		18実績	39	19目標	216
23目標			216	23実績		最終目標達成年度
18目標				最終目標		
18実績				19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	ケアマネジャーの居宅サービス計画説明、サービス事業所の介護サービス計画説明、契約等に、介護通訳が必要となり各事業所等から通訳の派遣依頼があった場合、介護通訳の派遣を行い、支援を行なう。介護通訳の派遣委託事業所(ニイハオ)に委託料を支払う。	主に中国帰国者対象に介護通訳を行う。申請のあった対象者に介護通訳を派遣し、介護通訳の派遣を提供した委託事業所に委託料を支払う。 多文化共生をめぐる庁内会議のなかで示された、通訳派遣1時間につき1,000円を、また、月額10,000円の調整費を委託事業所へ支払う。 広報(8/1)で対象者に事業内容等周知した。 申請のあった事業所等に対して介護通訳の派遣を行なった。 委託事業所:ニイハオ	派遣時間数 利用者実数 利用事業所数	39時間 70人 2事業所
	18年度の実績	同上 他の外国語通訳が必要な場合も、対応していく。	派遣時間数 利用者実数 利用事業所数	216時間 100人 4事業所
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	149	336
事業費計(A)	149	336	
人件費	正規職員所要時間	18年度 48	19年度 45
	臨時職員等所要時間	12	11
	人件費計(B)	185	173
	トータルコストA+B	334	509

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	安心していきいき暮らせる	安心して暮らせている高齢者の割合	現状値	59.6	19実績	480
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	60
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
NPOニイハオの設立、ニイハオを中心とした中国帰国者の要介護者の掘り起こし等により、実態が明らかとなり、介護サービス利用者が増加してきたため。	中国帰国者の高齢化により、要介護者が増加している。今まで潜在化していたが、NPOニイハオの設立活動開始により、実態が明らかになると共に、通所介護の受け皿ができた。	議会一般質問では、介護通訳について、相談の窓口設置とりんご庁舎への通訳者の配置についての質問があり、検討をしていくと答弁している。

## 【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) <b>結びつく</b> (その理由) 日本語を理解できないために介護サービスを受けられなかった方々が、サービスを受けることができる。	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) <b>余地がある</b> (その理由) 潜在化している介護を必要としている中国帰国者の掘り起こしを行い、居宅介護サービス等を提供する。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) <b>必要性がない</b> (その理由) 初年度は、中国帰国者が中心となった、外国人要介護者の発生には対応していく		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) <b>影響あり</b> (その理由) 介護を受けたくても受けられず、不公平が発生。要介護状態の悪化。
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) <b>必要性がない</b> (その理由) 各事業所等も介護通訳の派遣を利用することにより、中国帰国者の方との意思疎通が図られ支障なく居宅介護サービス等提供出来ている。			(評価) <b>統合可能</b> (類似事業名、理由) 男女共同参画課主管による外国人通訳の派遣、地方事務所厚生課、中国帰国者相談員、介護高齢課の行なう要介護認定での通訳については、地方事務所厚生課からの通訳派遣をお願いしている。 児童課のファミリーサポート事業
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) <b>必要ある</b> (その理由) 介護保険事業者が、通訳を雇ってサービス説明をするだけのビジネス量がない。ニイハオはNPOとして中国帰国者を支援しているが、無償では活動できない。		効率性評価	(評価) <b>不可能</b> (その理由) 委託者である市の業務量は少ないので人件費以上の効果が期待できる。
		公平性評価	(評価) <b>妥当である</b> (受益者とその理由) 通訳を必要とする要介護高齢者等、居宅介護支援事業者(ケアマネジャー)、居宅介護サービス等提供事業者派遣費用の負担は飯田市が行っている。		

## 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状維持。  上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法
<input type="checkbox"/> 実施年度 <input type="checkbox"/> 具体化	受託先事業者へ事業目的の周知を再度行い、外国人要介護者への対応を検討する。

### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	